

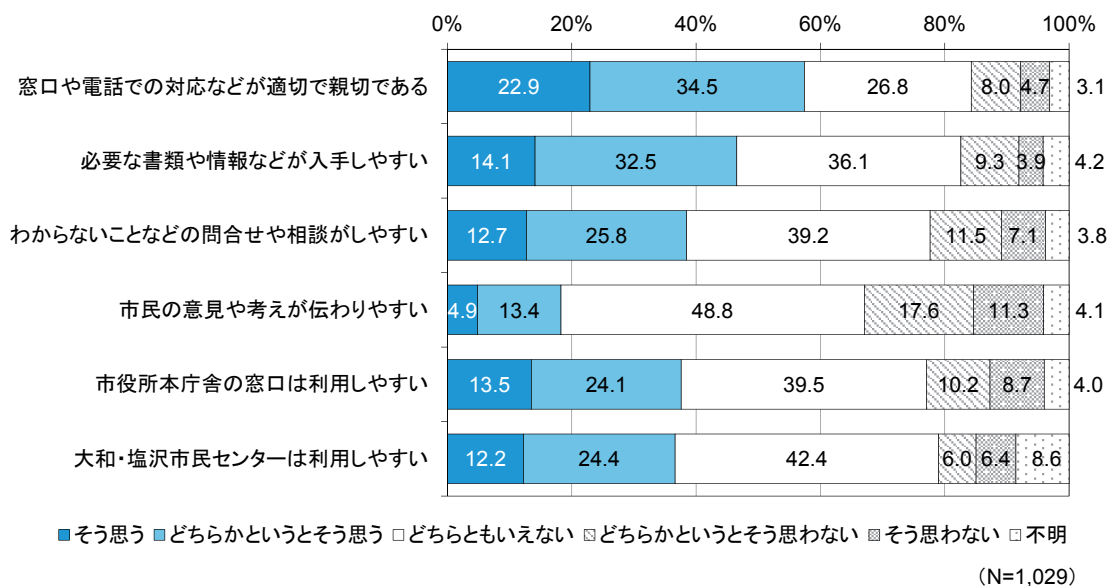
3. 住民サービス

問3 あなたは、南魚沼市の住民サービスについてどう思いますか。（それぞれ1つずつ選択）

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高い
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い

「そう思う」は「窓口や電話での対応などが適切で親切である」（22.9%）が2割以上で最も高くなっている。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」（57.4%）が約6割で最も高く、次いで「必要な書類や情報などが入手しやすい」（46.6%）、「わからないことなどの問い合わせや相談がしやすい」（38.5%）、「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」（37.6%）、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」（36.6%）となっている。一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」（18.3%）は最も低く、2割未満となっている。



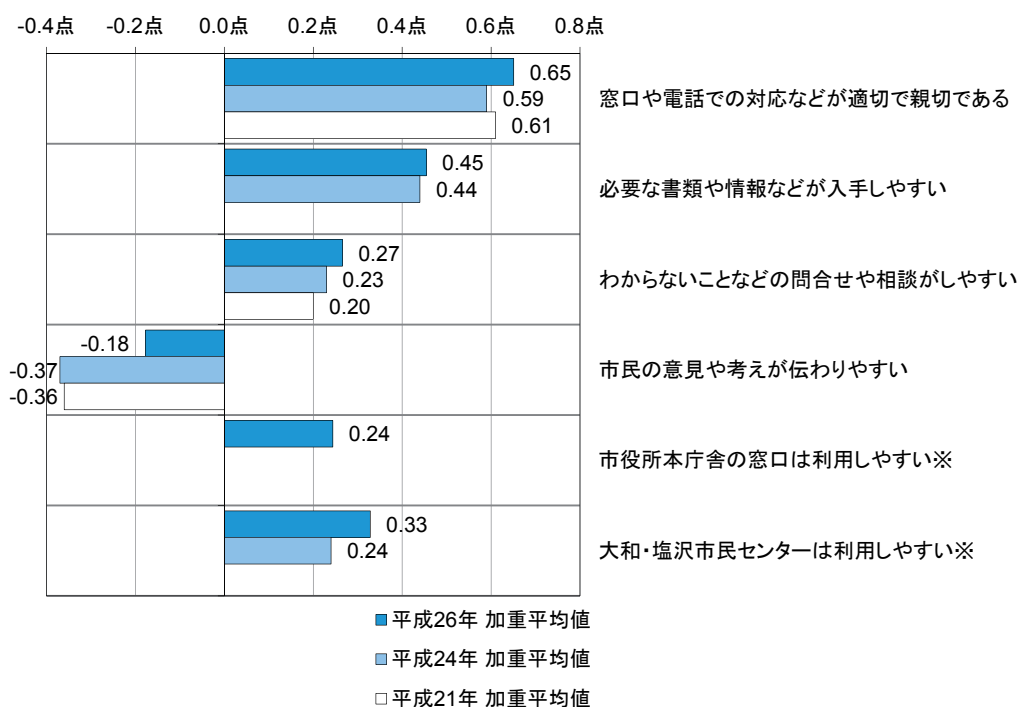
南魚沼市の住民サービスについてどう思うか（それぞれ1つずつ選択）

- すべての項目の評価が前回より向上
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も向上

各項目の加重平均値*を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(0.65点)が最も高く、次いで「必要な書類や情報などが入手しやすい」(0.45点)、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」(0.33点)となっている。

一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(-0.18点)が最も低く、6項目の中で唯一マイナスの値となっている。

加重平均値について、過去2回の調査と比較すると、今回新たに設けた「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」を除くすべての項目の値が前回より高く、特に「市民の意見や考えが伝わりやすい」(-0.18点)はマイナスの値ではあるものの、前回(-0.37点)より0.19点高くなっている。



※「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」は本調査、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」は平成24年からの項目

南魚沼市の住民サービスについてどう思うか（経年比較 加重平均値）

※加重平均値：「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる。

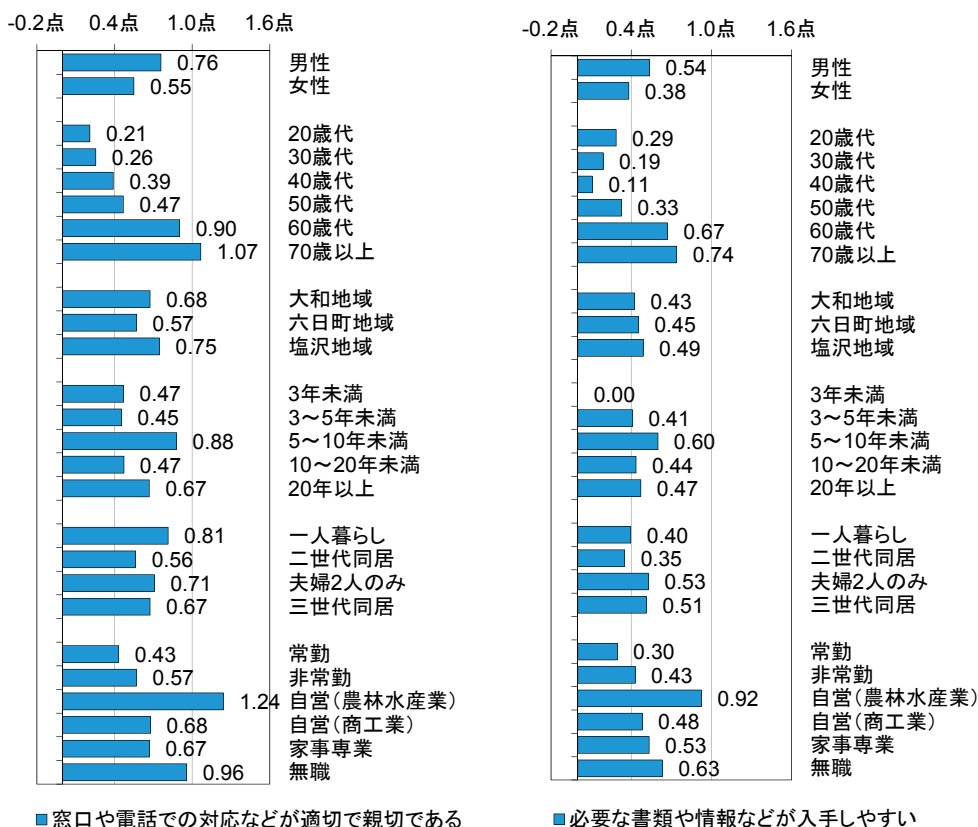
- すべての項目で男性、高い年代、農林水産業の評価が比較的高い
- 「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」は大和・塩沢地域と六日町地域で評価が異なる

各項目について属性別に見ると、いずれの項目も性別では女性より男性、年代別では高い年代、職業では自営（農林水産業）が比較的高くなっている。

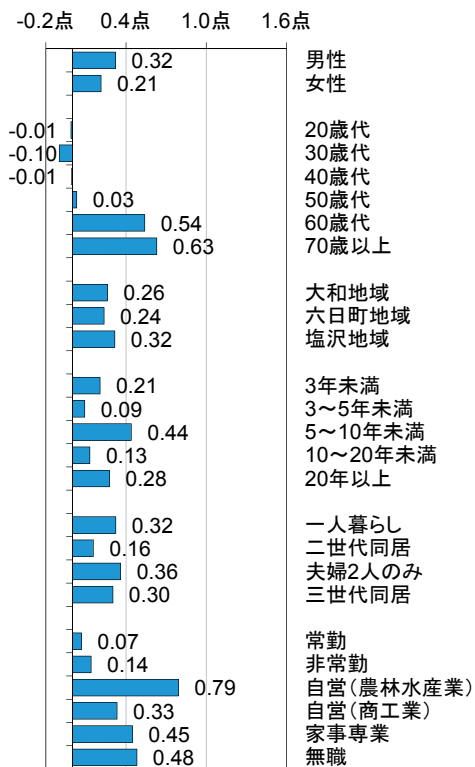
項目ごとの特徴を見ると、全体傾向で値が高い「窓口や電話での対応などが適切で親切である」、「必要な書類や情報などが入手しやすい」の2項目はすべての属性でプラスの値となっている。

一方、全体傾向で値が最も低い「市民の意見や考えが伝わりやすい」は、70歳以上（0.20点）、夫婦2人のみ（0.01点）、自営（農林水産業）（0.20点）、無職（0.03点）を除くすべての属性でマイナスの値となっており、特に30歳代（-0.56点）が低くなっている。

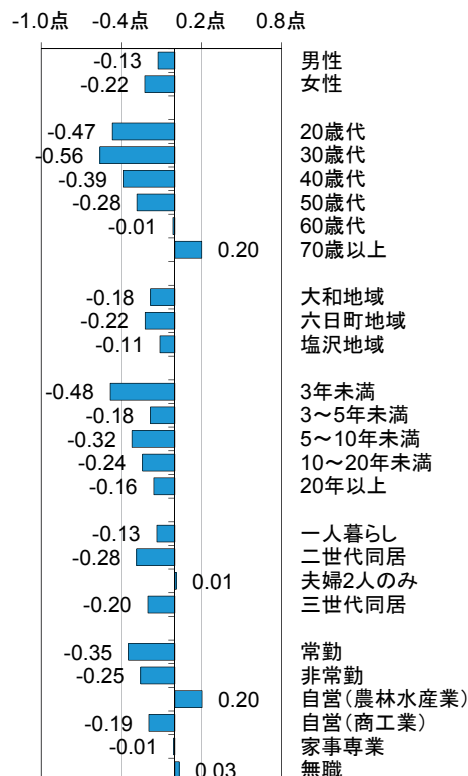
また、「市役所本庁舎の窓口は利用しやすい」では、居住地域による大きな差は見られないが、「大和・塩沢市民センターは利用しやすい」では、大和地域（0.65点）、「塩沢地域」（0.62点）がプラスの値、六日町地域（-0.09点）はマイナスの値となっている。



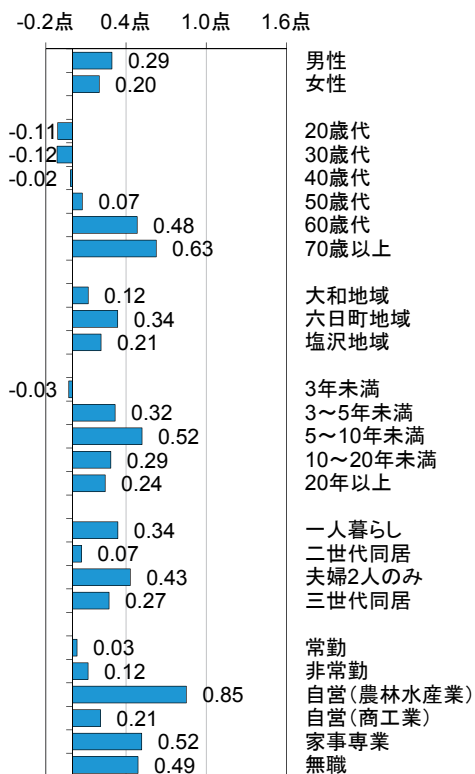
南魚沼市の住民サービスについてどう思うか（属性別 加重平均値 1/2）



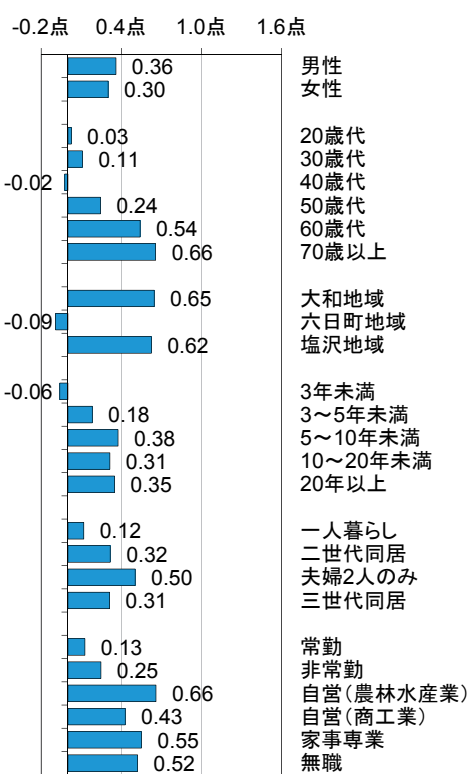
■ わからないことなどの問合せや相談がしやすい



■ 市民の意見や考えが伝わりやすい



■ 市役所本庁舎の窓口は利用しやすい



■ 大和・塩沢市民センターは利用しやすい

南魚沼市の住民サービスについてどう思うか (属性別 加重平均値 2/2)

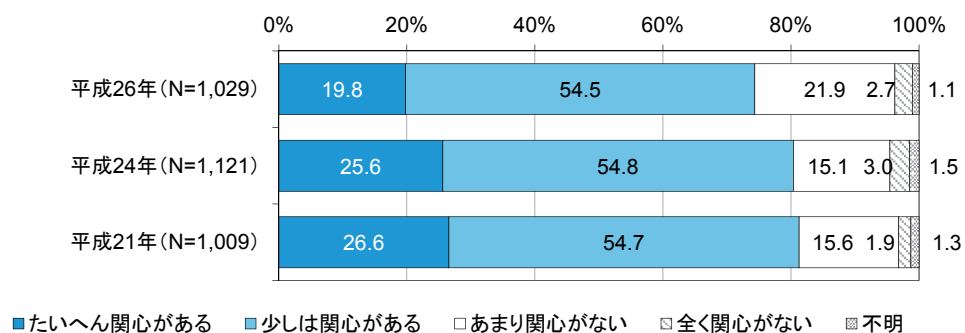
4. 市政への関心

問4 あなたは、市政に関心がありますか。(1つだけ選択)

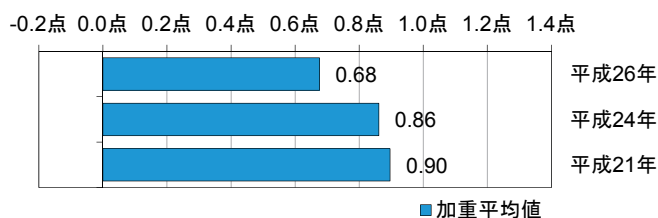
- 7割以上が「関心がある」
- 関心度は前回より若干低下

「少しは関心がある」(54.5%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(21.9%)、「たいへん関心がある」(19.8%)となっている。「たいへん関心がある」「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(74.3%)は7割以上となっている。

関心の程度について加重平均値*を見ると、本調査(0.68点)は前回(0.86点)や前々回(0.90点)より若干低くなっている。



市政に関心があるか (1つだけ選択)

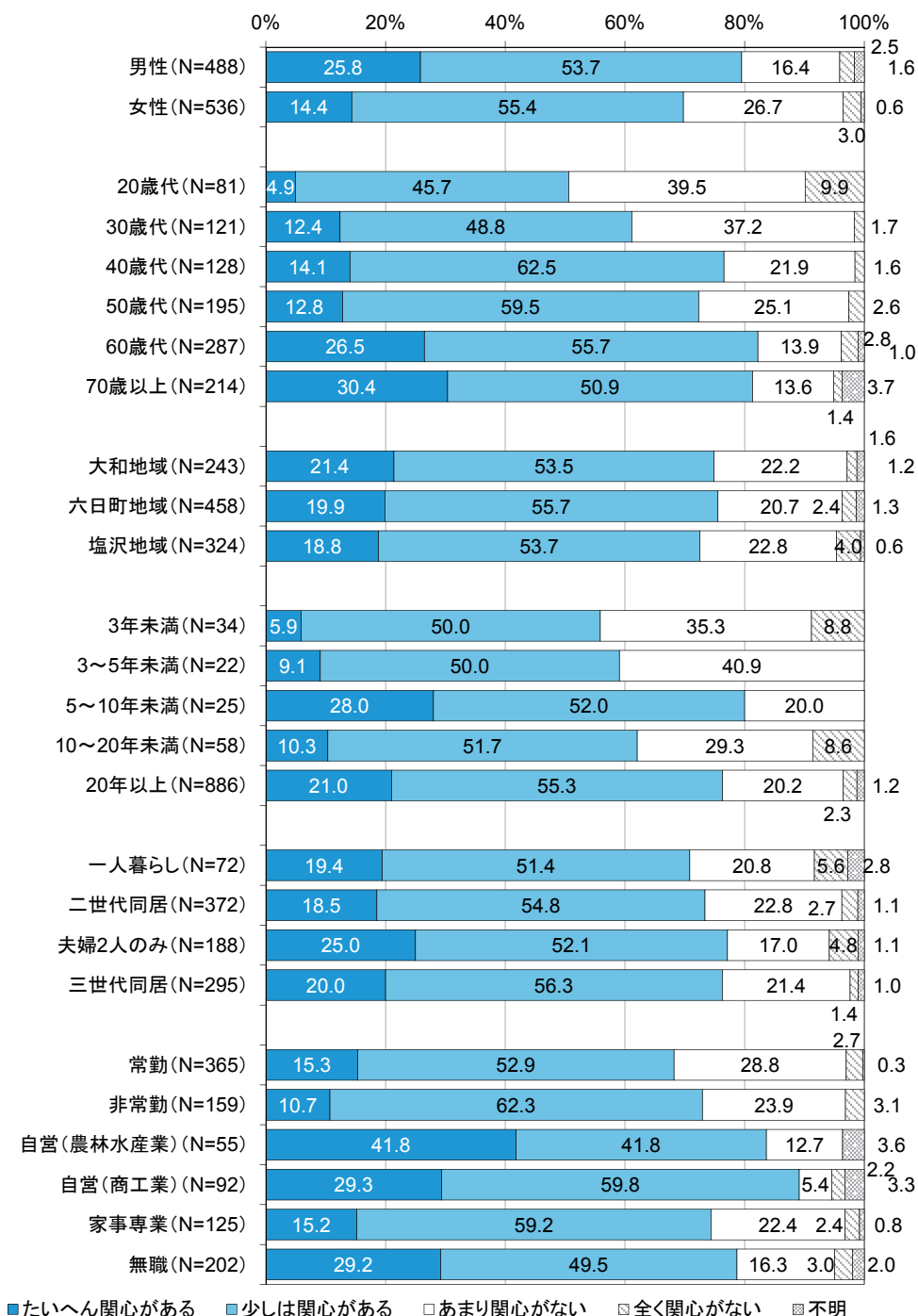


市政に関心があるか (経年比較 加重平均値)

※加重平均値：「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラス値の場合は肯定的な評価、マイナス値の場合は否定的な評価といえる。

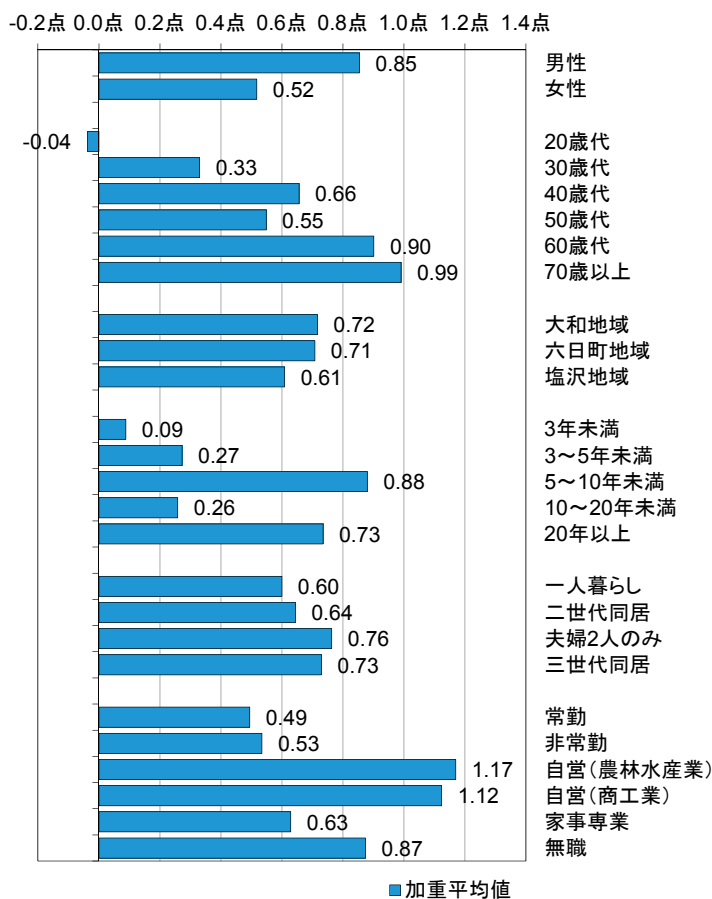
- 男性、60歳代以上、居住年数5～10年、農林水産業、商工業などの関心度が比較的高い
- 20歳代の関心度が低い

属性別に見ると、合計値『関心がある』は性別では男性（79.5%）、年代別では60歳代（82.2%）や70歳以上（81.3%）、居住年数別では「5～10年未満」（80.0%）、職業別では自営（商工業）（89.1%）などが比較的高くなっている。



市政に関心があるか（属性別）

加重平均値を見ても同様の傾向となっており、特に自営（農林水産業）（1.17点）、自営（商工業）（1.12点）は1.0点以上となっている。一方、20歳代（-0.04点）は唯一マイナスの値となっている。



市政に関心があるか（属性別 加重平均値）

5. 市政情報の入手

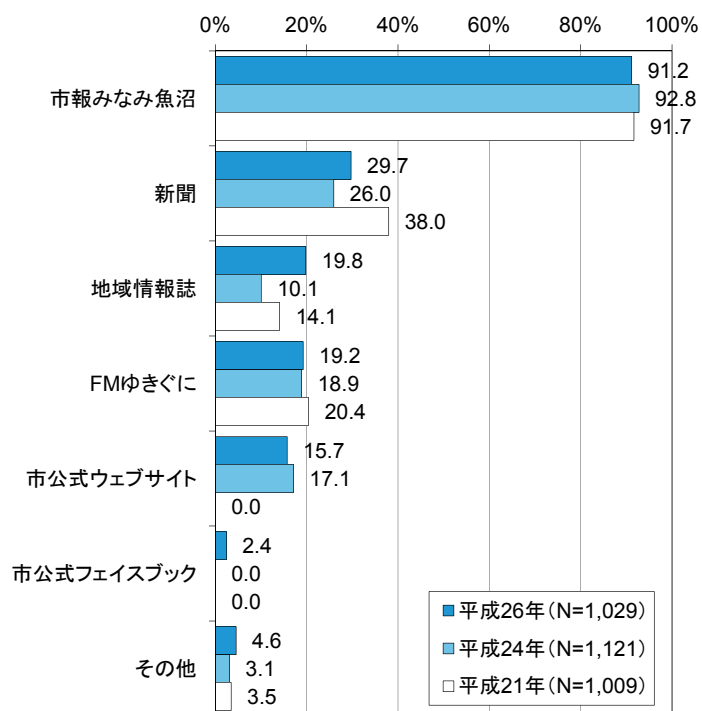
問5 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。(すべて選択)

- 市政情報の入手元は「市報みなみ魚沼」が9割以上
- 「地域情報誌」が若干増加

「市報みなみ魚沼」(91.2%)が9割以上で特に高くなっている。次いで「新聞」(29.7%)、「地域情報誌」(19.8%)、「FMゆきぐに」(19.2%)となっている。

一方、今回新たに設けた項目「市公式フェイスブック」(2.4%)は最も低くなっている。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られないが、その中で「地域情報誌」(19.8%)は前回(10.1%)より9.7ポイント高くなっている。



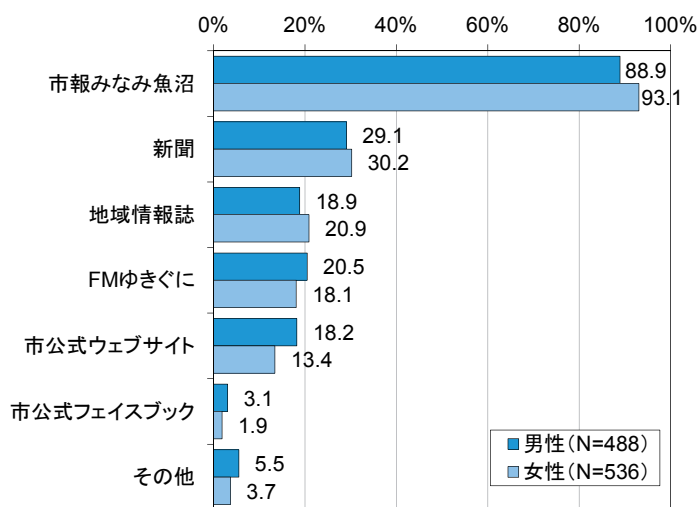
※「新聞」は平成24年、平成21年では「地元新聞」、「全国紙地方版」の合計、本調査の「市以外のホームページ」は「その他」に含む。
「市公式ウェブサイト」は平成24年、「市公式フェイスブック」は本調査からの項目

市政に関する情報を何から得ているか (すべて選択)

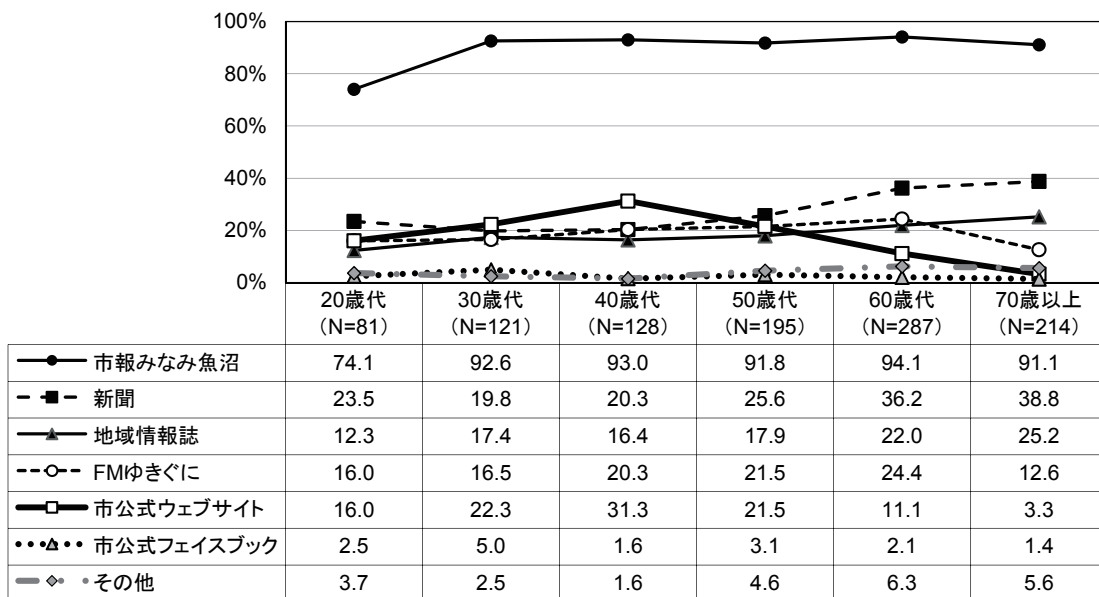
- 性別による大きな差は見られない
- 「市報みなみ魚沼」は20歳代が比較的低い
- 「市公式ウェブサイト」は40歳代が比較的高い

属性別に見ると、男女とも「市報みなみ魚沼」が特に高く、性別による大きな差は見られない。

年代別では、すべての年代で「市報みなみ魚沼」が特に高く、20歳代（74.1%）を除くすべての年代で9割以上となっている。次いで30・40歳代を除くすべての年代で「新聞」、30・40歳代は「市公式ウェブサイト」（それぞれ22.3%、31.3%）が高くなっている。



市政に関する情報を何から得ているか（性別）



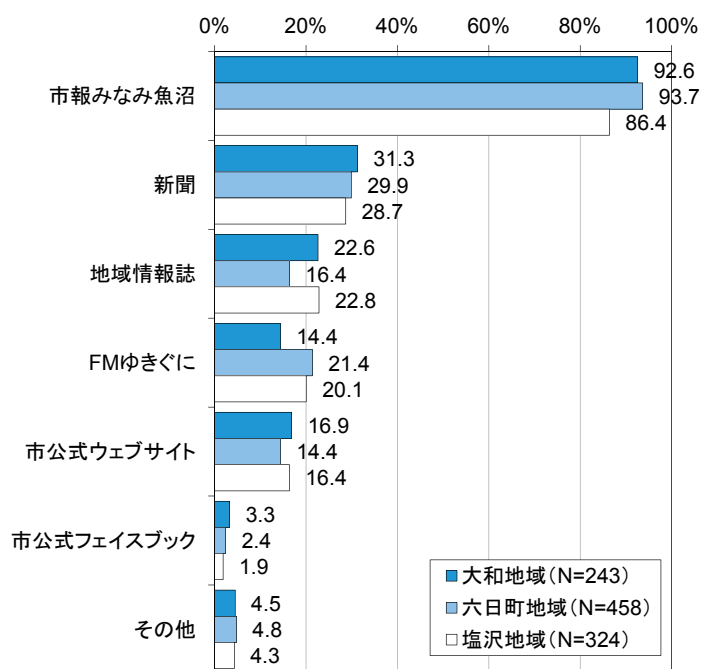
市政に関する情報を何から得ているか（年代別）

- 居住地域別では「FM ゆきぐに」は大和地域が比較的低い
- 家族構成別では「地域情報誌」は夫婦 2 人のみ、「新聞」は三世帯同居が比較的高い

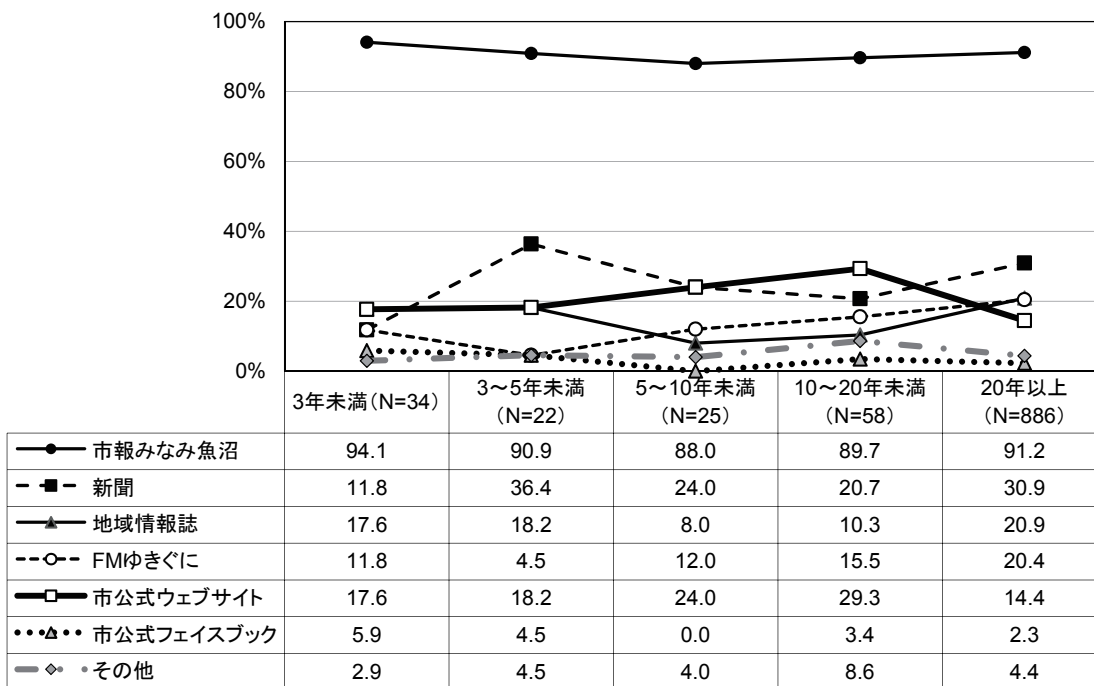
性別、年代別以外の属性では大きな差は見られないが、その中で居住地域別では、大和地域は「FM ゆきぐに」（14.4％）が比較的低くなっている。

居住年数別では、すべての年代で「市報みなみ魚沼」が特に高く、次いで「3～5 年未満」では新聞（36.4％）が比較的高くなっている。ただし、「3～5 年未満」はサンプル数 N（=22）が少ないことを考慮する必要がある。

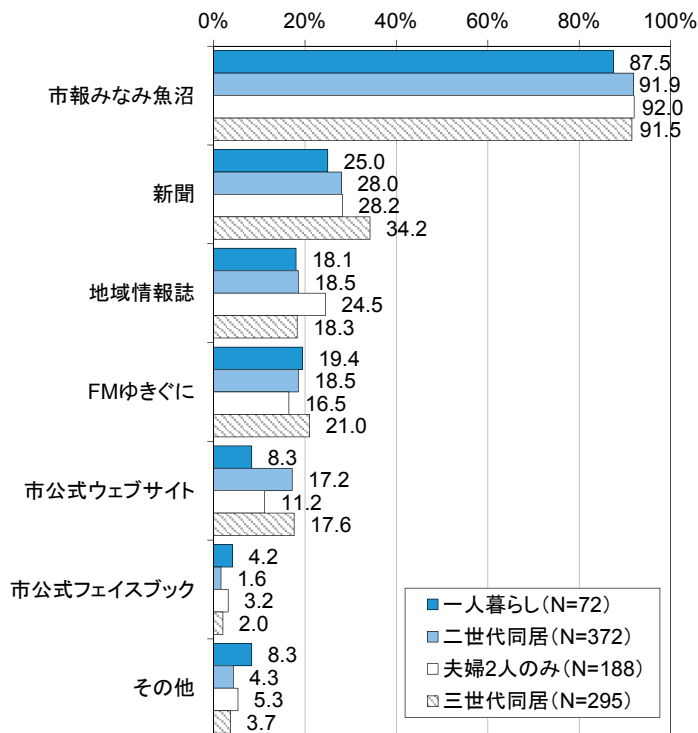
家族構成別では、夫婦 2 人のみは「地域情報誌」（24.5％）、三世帯同居は「新聞」（34.2％）が比較的高くなっている。



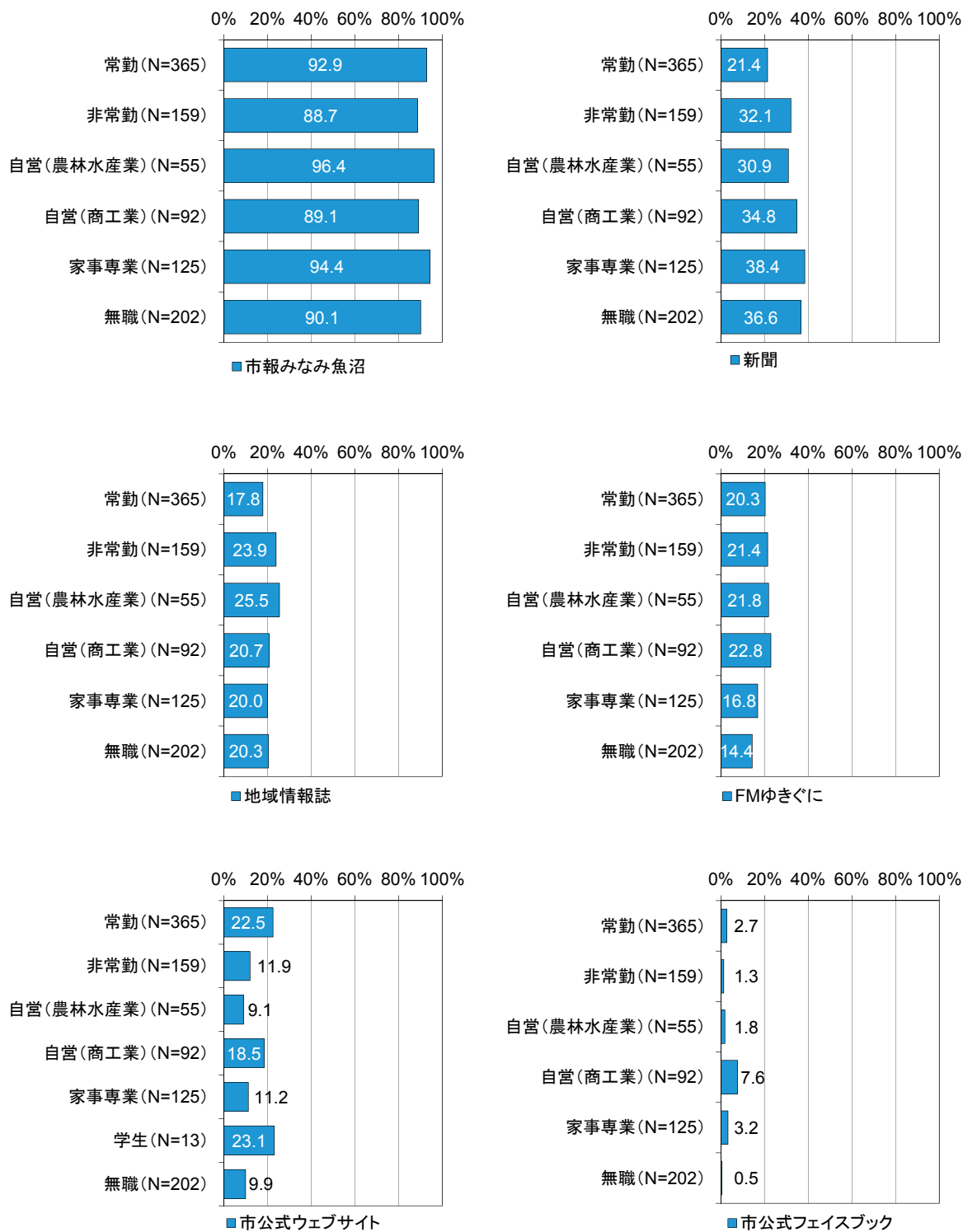
市政に関する情報を何から得ているか（居住地域別）



市政に関する情報を何から得ているか（居住年数別）



市政に関する情報を何から得ているか（家族構成別）



市政に関する情報を何から得ているか（職業別）

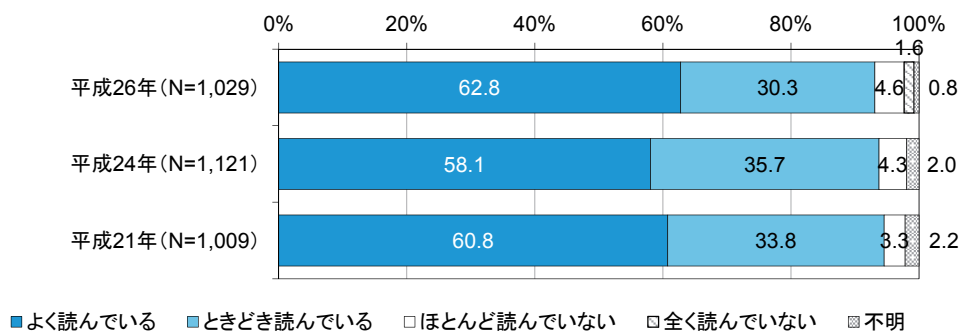
6. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか

問6 あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。(1つだけ選択)

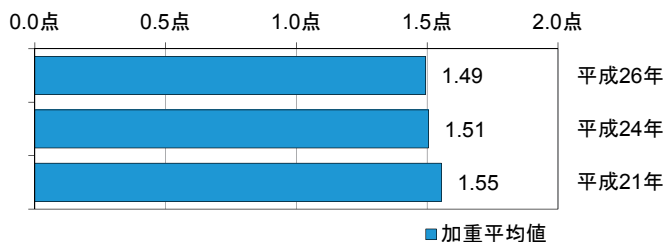
- 9割以上が「市報みなみ魚沼」を読んでいる
- 過去2回と比較して大きな変化は見られない

「よく読んでいる」(62.8%)が6割以上で最も高く、次いで高い「ときどき読んでいる」(30.3%)との合計値『読んでいる』(93.1%)は9割以上となっている。

加重平均値※を見ると、過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない。



「市報みなみ魚沼」を読んでいるか (1つだけ選択)

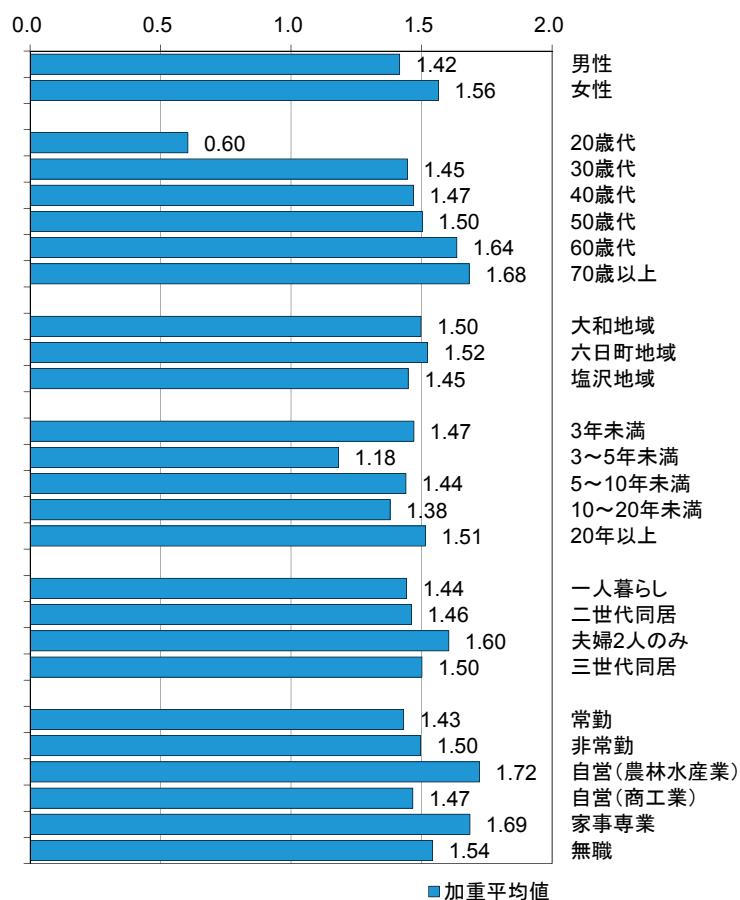


「市報みなみ魚沼」を読んでいるか (経年比較 加重平均値)

※加重平均値: 「よく読んでいる」に+2点、「ときどき読んでいる」に+1点、「ほとんど読んでいない」に-1点、「全く読んでいない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。

- 男性、60歳以上、居住年数20年以上、夫婦2人のみ、農林水産業、家事専業などが比較的高い
- 20歳代が特に低い

加重平均値を属性別に見ると、性別では女性（1.56点）、年代別では60歳代（1.64点）や70歳以上（1.68点）、居住年数別では「20年以上」（1.51点）、家族構成別では夫婦2人のみ（1.60点）、職業別では自営（農林水産業）（1.72点）や家事専業（1.69点）などが比較的高くなっている。一方、20歳代（0.60点）は特に低くなっている。



「市報みなみ魚沼」を読んでいるか（属性別 加重平均値）

7. 地域づくり協議会の認知度

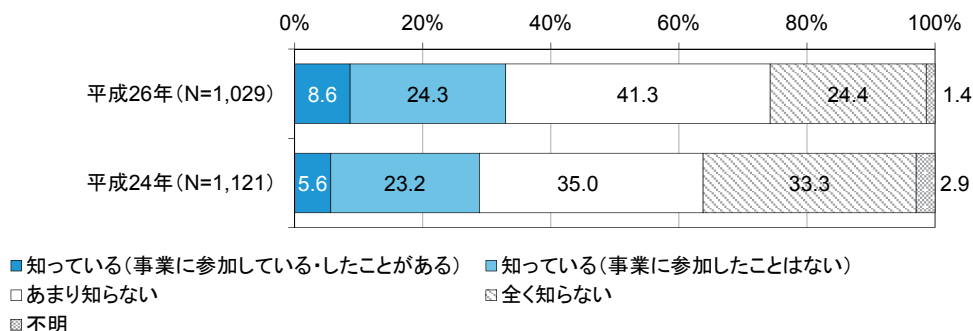
問7 あなたは、「地域づくり協議会」を知っていますか。(1つだけ選択)

- 「知っている」が約3割、「知らない」が約6割
- 認知度は前回より若干向上

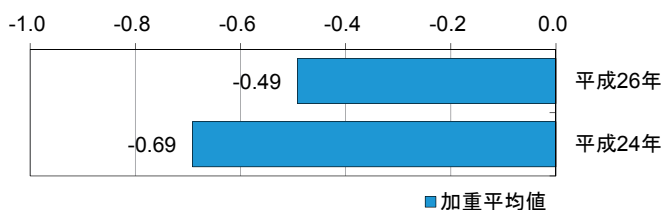
「あまり知らない」(41.3%)が4割以上で最も高く、次いで高い「全く知らない」(24.4%)との合計値『知らない』(65.7%)は6割以上となっている。「知っている(事業に参加している・したことがある)」(8.6%)、「知っている(事業に参加したことはない)」(24.3%)の合計値『知っている』(32.9%)は3割以上となっている。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られないが、合計値『知っている』(前回28.8%)は若干高くなっている。

加重平均値※を見ると、本調査(-0.49点)は前回(-0.69点)より0.20点高くなっている。



「地域づくり協議会」を知っているか(1つだけ選択)



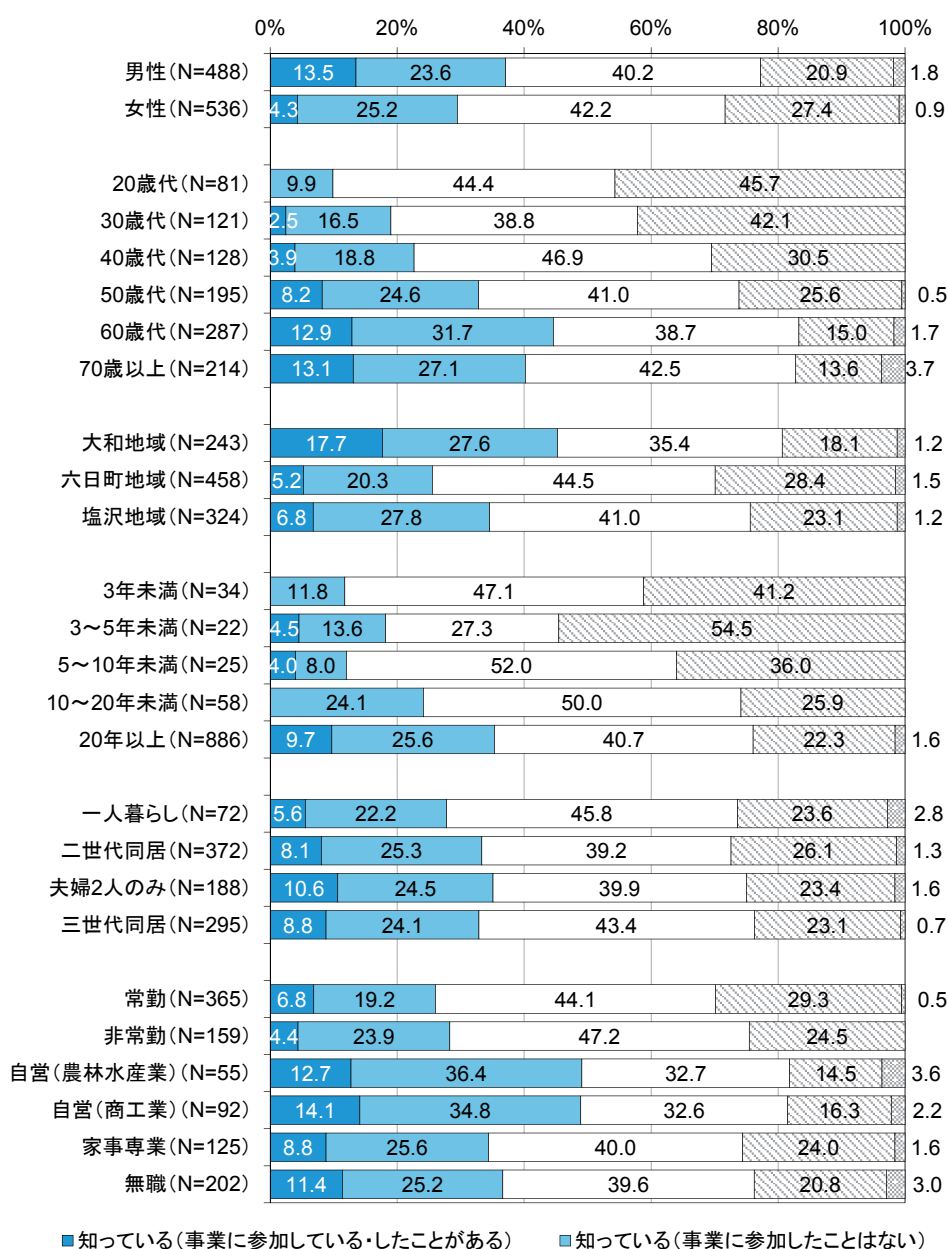
「地域づくり協議会」を知っているか(経年比較 加重平均値)

※加重平均値:「知っている(事業に参加している・したことがある)」に+2点、「知っている(事業に参加したことはない)」に+1点、「あまり知らない」に-1点、「全く知らない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。

● 男性、60歳代以上、大和地域、居住年数20年以上、農林水産業、商工業などの認知度が比較的高く、20歳代、居住年数10年未満の認知度が低い

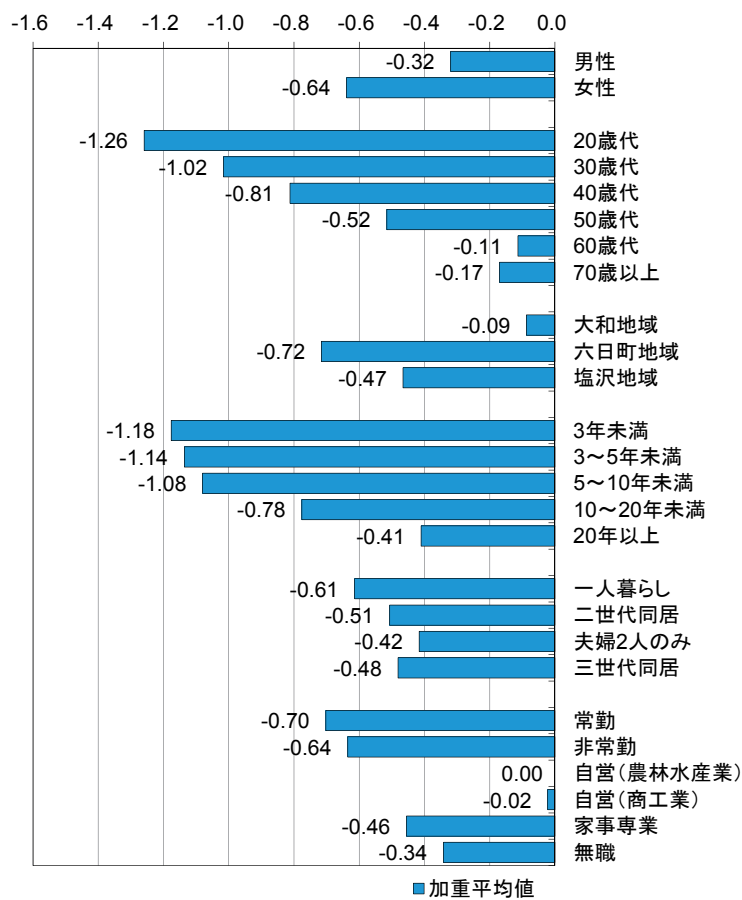
属性別に見ると、合計値『知っている』は、性別では男性（37.1%）、年代別では60歳代（44.6%）、居住地域別では大和地域（45.3%）、居住年数別では「20年以上」（35.3%）、職業別では自営（農林水産業）（49.1%）や自営（商工業）（48.9%）などが比較的高くなっている。

加重平均値を見ると、自営（農林水産業）（0.00点）を除くすべての属性でマイナスの値となっており、特に20歳代（-1.26点）、居住年数10年未満では-1.0点を下回っている。



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別）

Ⅲ. 調査の結果と分析 7. 地域づくり協議会の認知度



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別 加重平均値）